

# 環境啓発活動による環境意識の向上と 循環型コミュニティの創造

- ISO・環境ボランティア・環境創造・国際ネットワーク化を通じて -

文学部 人間科学科 谷口ゼミナール  
谷本 悠一郎 中岡 生瀬

# 環境啓発活動による環境意識の向上と循環型コミュニティの創造」 のプロジェクト概要

プラン1 : ISO取得可能なキャンパスの創造

- 学内連携を通じて -

プラン : 環境ボランティア活動

- 甲南三法人・県立尼崎北高等学校との連携および  
『あいな里山村』再生のボランティア -

(1) 甲南小学校との環境教育キャンプ

プラン : 環境創造活動の推進

- 2004年度までの活動を継続・発展させて -

(2) 自給自足生活の体験学習

プラン : 国際ネットワーク化の推進

- グローバルな視点からの環境意識の向上 -

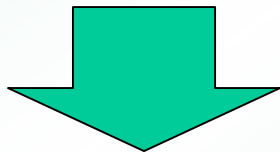
# プラン : 環境ボランティア活動

- 甲南三法人・県立尼崎北高等学校との連携および『あいな里山村』再生のボランティア -

## (1) 甲南小学校との環境教育キャンプ

### 目的

児童が甲南大学環境教育野外施設(広野)においてフィールドワークを行なう



自然の恵みや生命の尊さを学ぶ  
自然のリズムを体験する

大学生がサポート

# 活動内容

## ・火おこし体験 < 2005年6月18日(土) >



火種作りの指導



火おこし体験

## ・クラフト体験 < 2005年10月29日(土) >



フォトフレーム作り



児童の作品

# プラン : 環境創造活動の推進

- 2004年度までの活動を継続・発展させて -

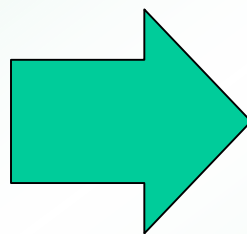
## (2) 自給自足生活の体験学習 < 2005年8月7日(日) ~ 12日(金) >

目的 : 循環型コミュニティの原型を体験し、現代のライフスタイルを見直す

・2005年度の目標

より良い住居の作成  
(竹とワラで作成した住居)

豊かな食生活(メニューの増加)



「住」環境の見直し

「食」環境の見直し

### 活動内容

準備日 : 竹の切り出し、体験学習中の予定の最終確認

1日目 : 住居作り

2日目 : ろ過機の作成と水質調査・中間反省会

3日目 : 自由日

4日目 : ピットクッキング

5日目 : 住居の解体と片付け・体験学習全体の反省会

# 住居作り

昨年度まで使用していた**簾**の住居に加え、**ワラ**の住居を作成  
住居の比較が可能になる

## ・簾の住居

長所：手間をかけずに作成できる

短所：簾の隙間から、日の光、雨が入り込む

## ・ワラの住居

長所：隙間がないため、日の光・雨が室内に入り込まない

短所：ワラの量と住居作成時間を多く必要とする



簾の住居



ワラの住居

# 食事



かまど



畑で育てたトマト



保存食(トマトケチャップ)



畑で収穫したカボチャ



食事(カボチャご飯と煮付け)



竹の食器

おわりに

## 甲南小学校との環境教育キャンプを通じて

- ・ 自然を見直すきっかけとなり、人間は自然と共に生きているということ  
を改めて感じた

## 「自給自足生活の体験学習」を通じて

- ・ コミュニティ内におけるコミュニケーションの重要性を認識できた



END